

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

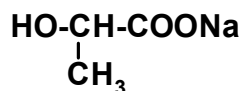
製品名 乳酸ナトリウム(50%)
会社名 扶桑化学工業株式会社
住所 大阪市中央区高麗橋4丁目3番10号
担当部門 営業開発本部
電話番号 06-6203-0052 FAX 番号 06-6203-0094
緊急連絡先 同上
整理番号 00Q642-G

2. 危険有害性の要約

危険有害性の分類 分類基準に該当しない
化学物質排出把握管理促進法および労働安全衛生法の危険有害性分類基準による分類対象外であり、GHS分類は記載省略。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物 (乳酸ナトリウムおよび水)
成分及び含有量 : 乳酸ナトリウム %水溶液
化学構造 :



官報公示整理番号 : (2)-1376
CAS 番号 : 72-17-3

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに水で洗い流した後、石けんでよく洗う。汚染された衣服類は、洗い落としてから着用する。
目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、吐かせない。直ちに医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、泡など
火災時の特定有害危険性 : 火災時には、不完全燃焼による一酸化炭素などの有毒なガス

- 特定の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。
- 消火を行うものの保護 : 消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡など）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流さないよう留意する。
- 除去方法 : 少量の場合は拭き取り廃棄する。水洗する際は排水を直接流さしないで、適切な排水処理を行う。
多量の場合は、盛土等で囲い、河川・海洋等への流出を防止し、漏洩物は出来るだけ回収して、廃棄物処理業者等に処理を依頼する。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 目、皮膚との接触の恐れがある場合には適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : 作業終了後は身体、手、口、目、顔などをよく洗う。
衣服等に付着した場合は脱ぎ捨て、よく洗ってから着用する。
漏れ、飛散しないようにすること。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚、目などの接触を避ける。
耐薬品性手袋、耐薬品性前掛け、保護眼鏡（ゴーグル等）などの保護具を着用して作業する。
- 保管
- 適切な保管条件 : 直射日光及び高温・多湿を避け、室温で密閉して保存する。

8.暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会（2015年版） 記載されていない。
ACGIH（TLV）（1999年版） 記載されていない。
- 設備対策 : 取り扱い場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。
作業する場所に上記設備が設けられない場合は、作業する場所近くにポリ缶或いは洗眼ビンを用意する。
- 保護具
- 手の保護具 : 耐薬品性手袋

目の保護具 : ゴーグル等
皮膚及び身体の保護具 : 耐薬品性前掛け

9.物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 澄明液体
比重 (25℃) : 1.263(50%), 1.313(60%), 1.372(70%)¹⁾
溶解性 : 水には任意の割合で混和

10.安定性及び反応性

安定性及び反応性 : 通常条件では安定

11.有害性情報

急性毒性 (乳酸ナトリウム 100%として) : LD₅₀ 2000mg/Kg (rat、腹腔)²⁾

12.環境影響情報

残留性/分解性 : 知見なし

13.廃棄上の注意

: 水で希釈後、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出して下さい。或いは焼却炉にて少量ずつ焼却する。

14.輸送上の注意

注意事項 : 運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15.適用法令

: 食品衛生法
その他使用される地域の法令に留意すること。

16.その他の情報

引用文献

RTECS No.OD5680000

1) 第8版食品添加物公定書解説書 D-1269 (廣川書店)

2) FAO *Rep.Ser.* 40, 144

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合は、この点にご配慮をお願いします。